

障害児利用促進重点児童館の取り組み

平成18年度児童館運営基本方針より

10か所の重点館※で下記の項目を具体化し推進するとともに、全館で必要に応じた対応を行う。

- (1) ニーズや個々の状況に応じて、児童館で実施しているプログラムに参加できるよう援助する。
- (2) 障害児と健常児が一緒に楽しめるようなプログラムを工夫し実施する。
- (3) 保護者のグループや、デイサービス事業、地域の区民等と連携し、事業実施や、児童館利用のサポート体制作りを行う。
- (4) 心障学級のある学校とも連携し、保護者の要望・意見を取り入れながら進める。

※障害児利用促進重点児童館

(心身障害児学級のある小学校区にある児童館9か所＋重度重複障害児指定学童クラブのある児童館)

宮前児童館・和泉児童館・四宮森児童館・馬橋児童館・高円寺東児童館
荻窪北児童館・西荻北児童館・上荻児童館・堀ノ内南児童館・高円寺北児童館

41児童館・ゆう杉並の対応

○通常利用やプログラム・行事への参加を援助

障害児利用促進重点児童館
10か所

- 障害児と健常児が一緒に楽しめるようなプログラムを実施
- 保護者のグループや、デイサービス事業、地域の区民等と連携
- 心障学級のある学校とも連携し、保護者の要望・意見を取り入れる

和泉児童館

■主に実施した事業■

定例企画 「にこにこシリーズ」

■協力者・協力団体■

障害者福祉会館・社会福祉協議会
東京文化短期大学 川村祥子先生・学生
手話サークル 杉の会
ダンス講師 鹿野裕子先生
杉並ろう学校
明治大学ボランティア サークルしいのみ
リミック講師 房前康子先生
青少年委員

事業内容

★にこにこシリーズ

実施日	内容	参加者総数	障害児数	備考
5月28日	にこにこクッキング & 音楽あそび	21	1	
6月25日	にこにこ「ろう学校のみんなどカレーを作ってゲームをしよう」	21		左記以外にろう学校の生徒15人
9月30日	にこにこ「みんなでレッツダンス」	25	3	
11月8日	にこにこ「手と手でお話しよう」	26		啓発活動
12月10日	にこにこ音楽あそび	25	2	
2月15日	にこにこ車椅子体験	22	1	啓発活動

クッキング、音楽遊び、ダンス、カレー作りの内容

にこにこクッキング & 音楽遊び

にこにこ音楽遊びでは、新泉小学校のなかよし学級のお友達に参加して、いっしょにたのしむことができた。レッツダンスでは、障害のある子も一緒にダンスを大いに楽しんだ。

にこにころう学校のみんなどカレーを作ってゲームをしよう

杉並ろう学校の協力を得て実施。ろう学校へいく道すがら、耳栓をし、聞こえないとはどういうことかという体験も行った。学校へついてからは、ろう学校のお友達とコミュニケーションをとりながら、カレーを作って食べ、ドッジボールをたのしんだ。子ども同士、触れ合うことにより、障害のあるなしに関わらず、一緒に過ごすことの楽しさを共有できた。

啓発活動

「にこにこ手と手でお話しよう」は、区内にある「杉の会」の協力を得て実施。子どもたちに手話をおしえていただく。又、聴覚障害の方から手話と口話で、体験談をお話してもらった。子どもたちには、よい体験になった。

「にこにこ車椅子体験」は、障害者福祉会館の協力を得て、車椅子体験を実施。車椅子を使って、歩いてみたり、補助の体験をした。子どもたちは車椅子を使うことの難しさばかりでなく、車椅子に乗っている人には、どういった援助をしたらよいかを考えることができた。2つの活動をとおして、障害のある人の気持ちを考えるだけでなく、どう援助したらよいかを子どもたちに考えてもらう機会ができてよかった。

コメント(成果、今後の課題など)

児童館がノーマライゼーションをとりくむ最大の目的は、障害のある子どもたちに、放課後児童館を利用してもらうことである。そういう意味では和泉児童館が取り組んできた「にこにこシリーズ」では、地域に住む障がい児が、来館しやすいような工夫をしたかという点では、不十分であった。一方、車椅子体験などの啓発活動は、子どもたちにさまざまなことを考えてもらうきっかけ作りとしては、有効であったと思う。今後は、実際に地域に住んでいる障がい児に、児童館を利用してもらえるよう、そのきっかけが作れる事業を展開していく必要がある。

堀ノ内南児童館

■主に実施した事業■

定例企画 「手と手をつなごう！ハッピーグループ」
 ★毎月1回金曜日15:15～16:30
 「かしのみ学級のみんなどあそぼう」
 ★かしのみ学級保護者会実施日14:00～17:00
特別企画 「ぼぶけのみんなど水あそびをしよう」
 ★8月3日(水)14:00～15:00
 「ぼぶけのみんなどカレーパーティー」
 ★3月29日(水)10:30～13:00
 「春のコンサート」
 ★3月29日(水)13:30～14:30
 大人むけ 「障害児サポート連絡会」

■協力者・協力団体■

障害児サポート連絡会(登録 47名)
 ・済美小PTA 20名
 ・堀ノ内クラブ(いきいきクラブ)10名
 ・こまどり母親クラブ 3名
 ・オーロラの会 3名
 ・主任児童委員 2名
 ・青少年委員 3名
 ・地域ボランティア 6名
 ぼぶけ
 (障害児の放課後を支えるグループ)

事業内容

★手と手をつなごう！ ハッピーグループ

実施日	内容	参加者総数	障害児数	備考
5月20日	みんなであそぼう	28	8	
6月17日	白玉フルーツポンチをつくろう	32	12	中学生の障害児3名参加
7月8日	しゃぼん玉であそぼう	34	13	かしのみ保護者会の日
9月16日	楽器であそぼう	25	5	
10月28日	スイートポテトをつくろう	26	9	
11月18日	おこのみ焼きをつくってたべよう	21	6	
12月16日	人形劇をみよう「まほうつかいトムと火をはくドラゴン」	95	6	幼児から大人まで参加
1月20日	みんなであそぼう・未来予想図をかこう	23	5	
2月17日	ハグ体操をしよう	25	6	
3月17日	お別れ会をしよう(カナッペを作ってたべよう)	23	6	

★ぼぶけのみんなど水あそびをしよう 参加者 子ども19名(障害児9名) 保護者・協力者9名

児童館のベランダに設置したビニールプールを使って、ぼぶけの子ども達や学童クラブ登録障害児と一般の子ども達が一緒に水遊びをする。一般の小学生にとっても水あそびができるのはこの日のみなので低学年の子ども達はとても喜んでいました。

★かしのみ学級のみんなどあそぼう と 障害児サポート連絡会

障害児延べ43名 サポート延べ55名 連絡会参加者35名

かしのみ学級の保護者会の時間に地域の皆さん(障害児サポート連絡会)が児童館で遊びながら子ども達を見守ってくださるようになった。保護者会は年に5回実施。サポートする大人だけが集まってサポート体制について確認する会は年に1回実施している。地域の皆さんがかしのみ学級の子ども達が知りあえ年々交流も深まっている。

★ぼぶけのみんなどカレーパーティー と 春のコンサート(96名)

参加者 障害児のみ14名 保護者・協力者11名 / 幼児15名、小学生46名、中・高生9名(障害児小・中・高計23)、大人26名
 午前中はぼぶけの子ども達と心障学級の子ども達やその保護者対象にカレーを作って食べて交流する会を実施する。かしのみ学級の保護者の皆さんにぼぶけの活動を紹介することもできた。
 午後は「音楽とお話の会 レッヒェルン」の皆さんに来館してもらい「春のコンサート」開催する。
 春のコンサートは幼児から大人まで誰でも参加できるイベントとした。春のコンサートには中・高校生の障害児の放課後活動をしているフォスターのメンバーや学童クラブ出席児童、一般来館児や保護者等予想以上に参加者も多く、楽しい音楽会となった。

コメント(成果、今後の課題など)

日常的な事業はどんなものでも障害児がチャレンジしたいものは積極的に参加できるように配慮している。
 ハッピーグループの活動やその他の事業でもたくさんの交流ができるよう工夫していきたい。
 かしのみ学級の保護者会のサポートは、地域のサポートメンバーの皆さんと連絡をとりながら長く続けていけるよう努めたい。

高円寺北児童館

■主に実施した事業■

- 定例企画 「わくわくグループ！」
毎月第4金曜日4:30~5:30
- 特別企画 ★「お楽しみコンサート」
6/23・12/8(木)4:00~5:00
★「どうぶつにふれてみよう」
11/30・2/8(水) 3:00~3:45
★「からだをつかってあそぼう」3/17(金)

■協力者・協力団体■

- 「お楽しみコンサート」
音の教室「カリヨン」2名
- 「どうぶつにふれてみよう」
(社)日本動物病院福祉協会
- 「からだをつかってあそぼう」
杉並工業高校柔道部

事業内容

★わくわくグループ

実施日	内容	参加者総数	障害児数	備考
5月27日	楽器づくりと新聞遊び	16	5	
6月24日	シャボン玉遊び	17	6	
7月15日	ボディペインティング	16	5	
9月30日	紙を染めてみよう!	15	4	
10月28日	布を染めてみよう!	14	3	
11月25日	楽器づくりと新聞遊び	19	7	
12月16日	すいとんづくり&ゲーム	17	6	
1月27日	横断幕づくり(もちつき会用)	16	5	
2月24日	小麦粉ねんど遊び	16	4	
3月17日	おたのしみ会「からだをつかってあそぼう」	15	6	

- ★お楽しみコンサート 参加者 6/23 子ども37名(障害児7名)保護者3名 幼児1名
12/8 子ども45名(障害児7名) 保護者2名 幼児1名

講師：カリヨンによる音楽あそび。手づくり楽器をつかって歌を歌ったり、リズムに合わせてからだを動かして楽しく過ごす。大型スクリーンに絵本を映して行われる読み聞かせは魅力的。

- ★どうぶつにふれてみよう 参加者 11/30 子ども18名(障害児6名)
2/8 子ども17名(障害児5名)

(社)日本動物病院福祉協会の会員の方が、5~6匹の犬を連れて来てくれる。犬との接し方のマナーを学んだ後、グループに分かれて、実際、犬に触れてみる。障がいのある子もない子も犬と楽しそうにふれあい、癒されている感じ。

- ★からだをつかってあそぼう 参加者 子ども15名(障害児6名) 柔道部15名

柔道部が四つん這いになり、その背中の上を子どもたちが歩いたり、下をくぐる。布に包まれた子どもがハンモックあそびをしてもらうなど、思う存分からだを動かし遊ぶ。ブラックライトの室内で紙をヒラヒラさせたり、ネオンライトを照らして素敵な世界を体験する。

コメント(成果、今後の課題など)

「わくわくグループ」は定着してきているグループ。障がいのある子もない子も一緒に楽しめるプログラムを企画したり、協力団体などに依頼して今後も継続していく。活動の中で、障がいのある子に対して、子どもたちが自然に接している場面が多く見られるようになった。参加している子どもの保護者から「子どもが優しくなった感じがする。良い活動ですね!」という感想も聞かれた。

特別企画でのさまざまな体験を通して、たくさん子どもたち(障がいのある子もない子も)が交流できる機会にしていく。

高円寺東児童館

■主に実施した事業■

定例企画「カラフルグループ」
 6月から12月まで実施(8月を除く)
 ★毎月第1・3・4木曜
 ★対象 1年～6年生
 3:00～4:00 自由あそび
 (障がい児のみ)
 4:00～4:30 集団あそび

■協力者・協力団体■

地域ボランティア 1名

事業内容

★カラフルグループ 参加者数 1回平均14人 障害児数6人

実施日	内容
6月～7月(遊戯室)	新聞紙を使ったあそび→新聞紙をちぎって、紙吹雪にしたり雪のようにふらせる 大きな布の上にちぎった紙を全部のせて、1度にふらせる →新聞紙にボールをのせてリレーあそび
9月(屋上)	シャボン玉あそび ボールあそび→フラフープで道をつくりながらボールをとりに行く →外野を2人決めて中当て
10月(遊戯室・屋上)	絵合わせゲーム→チーム戦、部屋いっぱい二等分にしてある動物の絵を裏返しにちらして置き、自分のチームの動物をさがしに行く しっぽとりゲーム
11月(遊戯室・屋上)・12月(屋上)	音楽リズムあそび→講師を招いてピアノのリズムに合わせて体で表現するあそび ジャンケンあそび→ドン、ジャンケン。チーム戦、屋上全面を使い、コートラインの上を歩きながらおこなう →ジャンケン鬼。個人戦、一斉におでこの前でジャンケンを出し、勝った方は負けた人を追いかける

★保護者懇談会

グループを実施するにあたり、心障学級の保護者と懇談を持ち、放課後の様子や、児童館を利用しやすい、又グループに参加しやすい方法などの話し合いを行なった。

コメント(成果、今後の課題など)

毎回4時からのグループ活動に先立ち、心障学級の子どもたち(3人)は学校からそのまま母親と来館。ランドセルを預かり、母親は1度退館し、一般来館の子と同様に子どもたちだけで児童館で過ごさせた。子どもたちには職員とボランティアがつき、今までふれたことのない遊具等であそび、自由あそびの楽しさを体験することができた。

4時からのグループ活動にあたっては、参加メンバーに自分だけではなくみんなが楽しめるグループという趣旨を話し、簡単で、走らないで行なえる集団あそびに重点を置き、障がい児でもできるだけ楽しんで参加できるように内容を工夫した。

以上の活動により、今まで放課後を家で過ごしていた障がい児親子が、新たなあそびの場所として児童館を活用してもらい、異年齢の子どもたちと関わり交流をもつことができた。

馬橋児童館

■主に実施した事業■

定例企画 「えほんだいすきスペシャル」
 ★毎月1回 火曜3:00～5:00
 ＊5月のみ月曜日に実施
 特別企画 「太鼓だドン」
 ★1月28日
 土曜10:00～11:30
 「阿波踊り」
 ★3月21日 火曜3:15～4:15

■協力者・協力団体■

あらた会(太鼓の会)
 高円寺阿波踊り てんぐ連連長
 馬橋小学校 なかよし学級保護者
 なかよし会

事業内容

★えほんだいすきスペシャル

実施日	内容	参加者総数	障害児数	備考
5月23日	かもつ列車、歌、絵本、手遊び	21	7	
6月14日	手遊び、絵本、新聞紙遊び(ちぎる、もぐる)	20	7	
7月19日	手遊び、ジャンボオセロ、歌	17	6	
9月6日	かもつ列車、マラカスづくり、手遊び	16	7	
10月25日	シャボン玉遊び、歌	20	8	
11月22日	リズム遊び、パラバルーン、歌	18	7	
12月13日	絵本、パネルシアター、工作	18	9	
1月17日	カルタ、しっぽとり、歌、パラバルーン	15	8	

★太鼓だドン！ 参加者 子ども15名(幼児2、障害児1名) 保護者・協力者7名 合計22名

地域で太鼓の演奏活動をする方達を招き目の前で実際の演奏を聞いた。普段目の前の手の届くほどの近さで聞いたり見たりすることのない子ども達にとって大変貴重な体験となった。土曜日で参加者が少ない事、障害児の参加が少ない事が課題。

★阿波踊り 参加者 こども30名(障害児11名) 保護者・協力者15名 合計45名

高円寺地域の特色を生かし阿波踊りを児童館利用者全員で楽しんだ。普段のプログラムでは、健常児障害児と別れ気味だが誰もが垣根を越えて踊りを楽しむことができた。地域にお住まいの阿波踊りの連長さんから手ほどきをいただいた後、参加者全員で館内を練り歩いた。事業を通じ地域の方との新たな関係ができた。また、館内を練り歩いたことで事業には参加しないものの踊る列を後追いするなど、児童館内の利用者全員が参加する有意義な活動となった。

コメント(成果、今後の課題など)

・今年度は地域で活動する方々にお越しいただき実施することで、地域の中にある児童館とういことを参加者全員が感じるとともに、地域に素晴らしい伝統があることを肌で感じ取ることができた。
 ・今後も地域の方々の力をお借りし障害児も健常児も楽しめるプログラムを実施していきたい。その意味で今回活動はプログラムの幅を広げる上で貴重なものとなった。
 ・健常児達に障害児と一緒に過ごす時間という認識が薄く、我先にプログラムを進めてしまう。障害児がプログラムから外れてしまうことが多々ある。障害についての認識を高めていくことで、参加者全員が楽しめる雰囲気づくりをしていきたい。
 ・メンバーが固定されていないため、プログラムの趣旨に対する認識が不足していると考えられる。メンバーを固定し実施する必要があるのか、活動の推移を見ながら模索していきたい。
 ・プログラムに参加する障害児の保護者の方々にも積極的に参加していただき、障害についての理解を得られるような取り組みを行いたい。

荻窪北児童館

■主に実施した事業■

定例企画「おはなしBOX」
 ★毎月火・木曜3:50～4:20
 「クッキングタイム」
 ★5・7・9・12・2月
 特別企画「おもしろえんにち」★10月22日(土)1:00～3:00
 「キラキラステージ」★12月17日(土)2:30～4:30
 「キラキラコンサート」★2月5日(日)2:00～4:00

■協力者・協力団体■

桃井第二小学校
 荻窪北学童クラブ父母の会
 マザーグースの会
 ご本大好き会
 ビレッジセブン
 森山お菓子教室

事業内容

★クッキングタイム

実施日	内容	参加者総数	障害児数	備考
5月28日	クッキーアラカルト	15	2	
7月16日	白玉団子	15	2	
9月17日	ピザ	15	1	保護者協力
12月10日	お菓子の家	15	0	森山お菓子教室協力
2月12日	チョコバナナマフィン&コロコロトリュフ	20	2	

★おもしろえんにち

10月22日	子育てネットワーク事業秋祭り(手話ソング)	740	2	
--------	-----------------------	-----	---	--

★キラキラステージ

12月17日	子どもと保護者のステージ発表(歌・手話・など)とゲーム会	145	1	保護者協力
--------	------------------------------	-----	---	-------

★キラキラコンサート

2月12日	ビレッジセブンの参加型コンサート	65	45	ビレッジセブン出演協力
-------	------------------	----	----	-------------

★キラキラコンサート 参加者 子ども52名(障害児45名) 保護者13名

障害者施設に勤める職員が集まり、結成したバンド“ビレッジセブン”に出演してもらった。障害のある子もない子も楽しめる参加型コンサートのなので、幼児から大人まで楽しめた。事前に、桃二小のひまわり学級がくることを伝えていたので、当日は、ひまわりの歌を演奏してくれて、ひまわり学級の子も大満足の時間になった。

★キラキラステージ 参加者 子ども99名(障害児1名) 保護者46名

年末の学童クラブと児童館の合同行事。子どもたちの歌、ダンス、手話ソング、フラフープ技やなぞなど、自分の得意なことを披露する。障害のある子とない子が一緒にマツケンサンバの曲を歌って踊った。学童クラブ父母の会のバンド演奏、保護者対子どもたちのリレーやドッチボールも

★保護者懇談会 参加者 保護者6名 ひまわり学級担任1人

桃二小学校ひまわり学級の保護者会後に懇談会を行った。懇談会の中では、保護者からの要望・意見を出してもらった。その中で、児童館はどのような活動を行えるか？また、児童館と小学校が協力して行えることは何か？ということ話し合った。保護者からは、家が遠いから児童館には日常的に遊びにいけない、日常的に使わせてもらっているから助かる、児童館に慣れるために学校の授業の中に児童館に行く機会を設けて欲しい、乳幼児室にあるおもちゃが好きだけど入れないので行かせられない、などの意見が出された。この懇談を行ったことで、保護者のニーズを知ることが出来た。児童館も、皆さんが参加しやすい工夫を出来る限り行うことを話した。

コメント(成果、今後の課題など)

今までは、ひまわり学級との関係がとれていなかったが、懇談会を行ったり、担任との話し合いを何度も繰り返すことで良い関係が築けた。授業の中に児童館体験を取り入れてくれたり、積極的に児童館のPRを行ってくれた。児童館は、障害のある子が申し込みをしやすいように配慮することで、今まで児童館に遊びに来なかった子が、親子で来てくれるようになった。

今後の課題としては、児童館に放課後安心してあそびに来られるように、サポート体制を作ることが必要。児童館としても親子のニーズにあった活動や日常運営が行えるようにしたい。



宮前児童館



■主に実施した事業■

定例企画「なかよしわくわくタイム」
 ★毎月1回金曜（週不定）
 14:45～15:45
 高二小・児童館で実施
 大人むけ「保護者&ボランティア懇談会」
 ★5月25日10:00～11:45（水）

■協力者・協力団体■

なかよしわくわくタイム実行委員会
 （地域の主任児童委員・地域ボランティア・
 母親クラブ・
 早稲田大学児童文化研究会他 20数名）
 高井戸第二小学校

事業内容

★なかよしわくわくタイム

実施日	内容	参加者 総数	障がい児 数	協力者数	備考
6月17日	「ゲーム会」新聞紙やボールを使ったゲーム	54	9	6	高二小体育館実施
7月7日	「レッツダンス1」講師によるダンス講習会	57	11	15	高二小体育館実施
9月16日	「秋のコンサート」ピアノ・チェロの演奏と	108	14	9	高二小体育館実施
11月18日	「焼きいもパーティ」館庭で焼きいも&ゲーム会	70	9	16	児童館庭実施
12月16日	「クリスマスケーキづくり」	40	11	9	久我山学級教室実施
1月20日	「伝承遊びに挑戦」巨大カルタ&風船羽根突き	38	10	9	高二小体育館実施
2月24日	「ひこうきをつくろう」ひこうきづくり&とぼし大会	55	10	13	高二小体育館実施
3月17日	「レッツダンス2」講師によるダンス講習会	31	9	14	高二小視聴覚室実施
	合計	453	83	91	
	平均	56.6	10.3	11.3	

★久我山学級保護者とボランティアスタッフの懇談会 参加者 保護者・協力者11名

高二小の知的障がい学級、「久我山学級」の保護者と、なかよしわくわくタイムのボランティアスタッフ、職員2名で懇談会を行った。保護者からは、児童の家庭での様子や、興味のあること、活動への希望について話してもらい、職員・スタッフの間でそれぞれの児童の理解を深めることができた。また、その後のプログラムづくりの参考になった。

コメント(成果、今後の課題など)

●なかよしわくわくタイムは平成15年度から始まり、主に高二小久我山学級と、その他参加者との交流を目的とした事業で、平成18年度で4年目になる。高二小の協力により、学校終了後、家に帰らずそのまま参加できる形態をとっている。(児童館実施回を除く)

●ゲーム・音楽・ダンス・工作・料理と、さまざまな興味を持った子どもたちが楽しめるように、毎回ジャンルを変えて活動を行っている。ゲームのときには寝そべて雰囲気だけ楽しんでいたり、工作のときは目を輝かせて取り組んでいたり、ダンスのときには大活躍する子がいたり、同じ子どもでも回によって参加の様子が違う。その中で、焼きいもやケーキなど、美味しいものが食べられるプログラムでは、ほとんどの子どもたちの笑顔を見ることができた。現代でも食べ物は多くの子どもたちをひきつける共通のキーワードのようだ。

●毎回のプログラムは、久我山学級の子ども他障がい児2,3名を含む10名前後のグループにわかれて行った。障がい児には一人ずつスタッフが付いた。子ども同士だけでなく、スタッフの大人との交流も深めることができた。

●宮前では地域の皆さんの意識が高く、ほとんど無償のボランティア活動にたくさんの協力者を得ることができている。今後もボランティアの輪を広げ、特に若い力を発掘し、育成していきたい。

西荻北児童館

■主に実施した事業■

特別企画「エンジョイもぐもぐランド 料理」
★9月17日（土）10:30～11:45

「エンジョイもぐもぐランド ダンス」
★1月21日（土）10:30～11:45

■協力者・協力団体■

地域ボランティア 5名
プランニューダンスマーケット 6名
桃井第三小学校

事業内容

★エンジョイもぐもぐランド

実施日	内容	参加者総数	障がい児数	備考
9月17日	エンジョイもぐもぐランド フルーツ豆腐白玉をつくろ	13	4	
1月21日	エンジョイもぐもぐランド レッツダンス	11	5	

★白玉団子作り 参加者 子ども13名(障がい児4名) 保護者・協力者5名

2人1組で白玉粉をこねた。保護者の方に日常の様子などを聞きながら進めた。指先を使い、こねる作業を楽しんでいた様子が見られた。身障学級の子どもも、友達と一緒に楽しそうに参加していた。

★ダンス 参加者 子ども11名(障がい児5名) ボランティア・協力者6名

雪の日だった為、少ない人数だったが、来た子は皆、楽しみにして来てくれていた。最初は緊張していた子どもたちも、音楽を流して身体を動かしていくうちに緊張がほぐれてきた。全員で踊る時も、障がいのある子もない子もとても楽しそうに身体を動かし、生き生きとしていた。

コメント(成果、今後の課題など)

料理は、子どもたちの日常の様子を知ることができたが、個々の活動になってしまいがち。子どもたち同士が交流するためにもうひと工夫する必要がある。

ダンスは、子どもたちは踊ることが好きで、参加者全員で一体感を持つことができるので、18年度も継続する予定。18年度は回数を2回に増やす。ただし、ダンスのボランティアの他に、障がい児に付くボランティアが必要。保護者の付き添いがいらなかったためか、保護者の方にも好評だった。

上荻児童館

■主に実施した事業■

定例企画「わくわくポケット」
★毎月第四土曜2:30~4:00

■協力者・協力団体■

天沼地区民生児童委員

事業内容

★わくわくポケット

実施日	内容	参加者総数	障害児数	備考
5月7日	あそびのひろば ゲーム会	15	3	
6月25日	図工室のまどをかざろう	13	2	
7月21日	手作りおべんとうを持って、蚕糸の森公園に出かけよう	22	3	
8月6日	しゃぼん玉であそぼう	4	0	
9月10日	わくわくお茶会	6	0	
11月26日	どんぐりトトロをつくろう!	16	3	
12月6日	クリスマスおはなし会	40	7	
1月18日	手話ソングコンサート	75	4	
2月25日	かわいい動物人形と音楽のつどい	55	6	
3月25日	地域たんけん	6	0	

コメント(成果、今後の課題など)

《成果》

- * 民生児童委員や、地元の方、障がい児をあずかるボランティアグループなど、周りの大人はよく理解し協力してくださっている。
- * こだま学級の担任に、行事实施に協力してもらえた。

《今後の課題》

- * 引き続き、障がいを持つ子でも興味を持つと同時に参加しやすく、またほかの子にとっても新鮮に感じられるような活動企画の工夫。
- * 関係者との連携、PR
- * 参加者同士の交流、情報交換

四宮森児童館

■主に実施した事業■

定例企画「ガチャガチャタイム」(工作)
 ★水曜2:30~4:30
 特別企画「ガチャガチャタイムスペシャル」
 ★6月12日(日) 1:30~4:00
 ★12月7日(水) 2:30~4:30
 ★3月1日(水) 2:30~4:30

■協力者・協力団体■

地域の主任児童委員・青少年委員
 地域のボランティア

事業内容

★ガチャガチャタイム

実施日	内容	参加者総数	障がい児数	備考
5月11日	くいしんぼうたこ	24	3	
5月18日	パッチン	26	3	
5月25日	むくむく	28	2	
6月1日	アイロンビーズ	18	0	
6月8日	ポプリ	14	0	
7月13日	バルーンスライム	52	4	
9月7日	でんでんたいこ	20	2	
9月21日	泥団子	21	1	
10月5日	牛乳パックのミラクルキューブ	17	2	
10月12日	これもプラバン	33	3	
11月16日	水の万華鏡	18	1	
11月30日	エンドレス玉転がし	24	1	
1月11日	ビー玉おとし	14	1	
1月25日	ドライアイスのひみつ	27	1	
2月1日	オープン粘土のアクセサリ	17	1	
2月8日	ホカロンのひみつ	23	1	
2月22日	マジックプレートキーホルダー	33	3	
3月8日	イオンはいいも〜ん	20	1	

★ガチャガチャタイムスペシャル1「みたらし団子作りとみんなで遊ぼう」

参加者 子ども17名(障がい児1名) 保護者・協力者9名

お団子作りをグループに分かれて行う。生地をこねる作業を、特に皆楽しんでた。団子をゆでている間、ボランティアサークル「サンタクロースの会」による人形劇などを見て楽しむ。

★ガチャガチャタイムスペシャル2「みんなでこねこねショートブレッドづくり」

参加者 子ども27名(障がい児3名) 保護者・協力者4名

ビニール袋の中で生地を作るショートブレッドづくり。焼きたてのショートブレッドは、サクサクしてとてもおいしいと、皆大満足だった。

★ガチャガチャタイムスペシャル3「こねこねふっくらパンづくり」

参加者 子ども25名(障がい児5名) 保護者・協力者4名

講師に教わりながらパンを作る。さらさらの粉がべとべとになり、みんなでこねると生地がまとまってくる。発酵する様子も不思議そうにじっとみつめ、出来るまでの過程を楽しむことができた。

コメント(成果、今後の課題など)

○ガチャガチャタイムは一人で作って楽しむ工作の時間となっている。スペシャルとしては、みんなで作って、食べて楽しめるようなものを計画・実施した。いずれも簡単においしくできて好評だった。障がい児の参加も増え、定着してきたので、今後につなげていきたい。

○日常的に障がい児の来館があるので、来館しやすい雰囲気を引き続き作っていく。

<今後の課題>

○学校と連携を取り、より障がい児が参加しやすいプログラムを実施していく。

○地域からボランティアを募り、協力を得ながら行っていきたい。

○来年度は工作という枠にとらわれずに、「まほうのぼうし」というタイトルで内容を計画し、行う。